

2025 年 大学行政管理学会 研究会・研究グループ活動 報告書

研究会等名称	大学防災(減災)教育・対策研究グループ			
活動目的	<p>本研究グループは、学士教育課程に求められる“専門性を有する教養人の養成”と大学の社会的責任の両面から、防災の意識と知識を有する人材の育成(教職員・学生)を、地震列島日本の大学の使命の一つであると考えます。</p> <p>本研究グループでは、防災の意識と知識を有する人材の育成を“防災力”向上と位置づけ、キャンパスの内外を問わず、人命尊重の原則に立脚し、広くは人々の生活不安や伝統文化の損失を最小限にとどめるための一端をいかに担えるかを命題として、防災教育・対策のアウトカムを目指します。</p>			
参加資格・条件	学会員および大学関係者			
<p>活動状況</p> <p>①開催ペース (毎月1回、第何曜日など)</p> <p>②主たる開催場所</p> <p>③主な活動経過</p> <p>④現在の活動状況・研究テーマ等</p>	<p>① 開催ペース：不定期（年3回開催を別途）</p> <p>② 主たる開催場所：関西地区の大学 ※共催ご協力の地区および共催校</p> <p>③ 主な活動経過：</p> <p>2024年度 第28回 定期総会・研究集会ワークショップ 参加者：11名 開催日時：2024年9月7日（土）15：50～17：50 場 所：日本福祉大学東海キャンパス テーマ：『被災地域へ派遣した学生ボランティア活動の目的と課題』</p> <p>明日災害が起きるとして<u>個々が・組織が生き残るために</u>今日知りたい10のこと</p> <p>○テーマについて・・・被災地域へ派遣した学生ボランティア活動の目的と課題</p> <p>○目的とねらい・・・国土強靱化計画を担える人材育成に寄与するための、ボランティア活動と防災教育の普及・啓蒙</p> <p>話題提供 「広島県大学生連合による能登半島地震ボランティア派遣報告」 発表者 広島修道大学ひろしま未来協創センター 飯田良行（本研究会メンバー）</p> <p>グループディスカッション（テーマ1・2） テーマ1：「災害ボランティアの事前レクチャーについて考える」 テーマ2：「災害ボランティアを体験し学生に気づいてほしいこと」</p> <p>通算 第9回研究会（単独開催） 参加者：33名 開催日時：2025年2月8日（土）14：30～17：00 場 所：金沢未来のまち創造館（対面/オンライン併用） テーマ：『被災地域へ派遣した学生ボランティア活動の目的と課題～能登半島地震における過疎地の復興支援を考える』</p> <p>講演「令和6年能登半島地震における被害の実際と対応の現状」 講師：井ノ口宗成先生（富山大学 都市デザイン学部都市・交通デザイン学科准教授）</p> <p>大学防災（減災）教育・対策研究グループ事例発表 「能登半島地震復興支援：学生ボランティアの挑戦と学び」 発表者：飯田 良行</p> <p>JUAM 防災研情報交換交流会 参加者：11名 開催日時：2025年2月8日（日）9：00～15：00 場 所：北陸大学 内 容：第9回研究会の振り返りと当研究グループのメンバーによる親睦と情報交換を行うことを目的とし実施</p> <p>④ 研究テーマ</p> <p>(1)「防災（減災）教育の開発・啓蒙に関すること」 (2)「防災（減災）に関するマネジメント（危機管理）」 (3)「防災リーダー養成に関すること」</p>			
その他				
代表者	氏名 (よみ)	水谷 俊之 (みずたに としゆき)	大学 部署	佛教大学 学生支援部 宗教課 幹事
連絡先	電話番号	075-491-2141	メール アドレス	toshimiz@bukkyo-u.ac.jp